

# 浄土 平泉

7月7日に開かれた第32回世界遺産委員会の審議で「平泉」は登録延期と決議されました。3年後の再チャレンジに向けて、平泉文化を象徴する「浄土」について、引き続き解説していきます。

## 第4回「平泉のさまざまな浄土」

「浄土庭園」毛越寺のご本尊は何様でしょうか？阿彌陀様に決まっている、と思いませんか？

正解は薬師如来です。阿彌陀如来とは真反対の仏様です。阿彌陀如来は「あの世」の「極楽浄土」の仏様ですが、薬師如来は病をいやし悩みを除いてくれる「この世」の仏、その浄土は東方の「瑠璃光浄土」です。

初代清衡が建立した中尊寺は、お釈迦様が中心のお寺でした。釈迦如来は、私たちの世界（娑婆）を導くために出現されたということですから、この娑婆世界こそがお釈迦様の「浄土」ということになります。二代基衡公建立の毛越寺は薬師如来の「瑠璃光浄土」、三代秀衡の無量光院は阿彌陀如来の「極楽浄土」、そして、この3つの寺院の真ん中にあるのが金鶏山です。山頂には金の鶏ではなく、お経が埋めてありました。お釈迦様の後継者・弥勒菩薩がこの「娑婆世界」に現れるときまで保存するためです。



◀毛越寺伽藍の復元CG。毛越寺は、薬師如来の浄土「瑠璃光浄土」の世界を表しているという。平泉はさまざまな仏様の世界（浄土）が満ちあふれていた

こうしてみると平泉にはさまざまな「浄土」のお寺が作られましたが、藤原三代の思いは常にこの世にあり、みちのくを護ることにあったことが分かります。三代は金色堂の「極楽浄土」の中で肉体を保存し、弥勒出現に合わせて復活し、仏となって永遠にみちのくを守護しようとする願いなのでしょう。

平泉郷土館長 大矢邦宣

## 平泉を掘る

### 発掘最前線⑥9

一溝に捨てられた「かわらけ」と建物跡一

写真は、溝跡に重なっている「かわらけ」です。出土したのはJR平泉駅前の西約300m、志羅山児童館の南側、志羅山遺跡98次調査の発掘現場です。

ここは平成18年度に長さ160mに及ぶ柱穴列を確認した95次調査の南側隣接地に当たり、本年度の98次調査では約500個の柱穴や多数の溝跡が見つかりました。この中で南北に伸びる溝跡の中央約3mの範囲から約40個のかわらけがまとまって捨てられているのが発見されました。溝は幅・深さ共に約30cmの規模で、かわらけの特徴から奥州藤原氏三代秀衡の時代の遺物であることが分かりました。

柱穴の半数以上は12世紀から中世にかけてのものと思われ、何度もくり返し建物や溝などの施設を築いていたようです。建物跡の柱穴と前後する時期に築かれた溝跡からは、かわらけや陶器のほか銅とみられる小さな鉾澤こさざいがわずかに出土しました。

今回の発見は、当地が屋敷地の一部であったことがうかがわれ、近隣の屋敷の区割りや銅に関連した工房の存在を推定する上で重要な資料となるものです。

文化財センター 菅原計二



溝跡に捨てられた土器（かわらけ）

## 社会保険庁からのお知らせ

# 「ねんきん特別便」年金記録の確認にご協力ください

4月からすべての年金受給者に、6月から加入者の方にお届けします

緑色の封筒でお届けします

- ▷年金を受けている方 = 本年4月から5月までの間
- ▷現役加入者の方 = 本年6月から10月までの間

年金記録のご確認をお願いいたします

- ▷年金記録に「漏れ」や「間違い」がないか十分にご確認をお願いします。
- ▷「漏れ」や「間違い」がある場合も、ない場合も、必ずご回答くださいますようお願いいたします。年金記録が変われば、正しい年金額をお受け取りいただけることとなり、年金額が増える可能性が高いので十分にご確認ください。

3月までに青色の封筒で「特別便」が届いた方は、年金記録に漏れがある可能性が高い方です  
▷まだ回答をいただいていない方がいらっしゃいますので、ご注意願います▷まず、「ねんきん特別便専用ダイヤル」にお電話ください▷結び付く可能性のある記録についての具体的な情報を提供します

周りの方にも呼び掛けてください

ご家族の方などに「ねんきん特別便」が届いたら、過去の職歴について一緒に記憶をたどってみるなど、多くの方からご回答をいただけるよう、ご協力をお願いします。（ご家族でも、お一人おひとりに届く時期が異なります）

問い合わせ先…▷一関社会保険事務所 ☎23-4246 ▷ねんきん特別便専用ダイヤル ☎0570-058-555

# 震度5強の揺れ再び

## 県沿岸北部を震源とする地震

7月24日0時26分ごろ、東北地方を中心に強い地震がありました。震源は岩手県沿岸北部で、地震の規模はマグニチュード6・8と推定されたこの地震は、6



月14日に発生した岩手・宮城内陸地震に引き続き、当町で震度5強の強い揺れを記録しました。町内では地震の影響により、住宅2棟で屋根瓦が落ちるなどの被害があったほか、住宅以外でも作業場の屋根瓦が落ちるなど2棟が被害を受けました。学校教育施設では、中学校の体育館の壁や渡り廊下の天井の一部はがれるなどの被害がありました。中尊寺、毛越寺をはじめとする文化財への被害はありませんでした。

①高速道ボックス内の照明用引き込み電柱が倒れた②畜舎に隣接する壁が、岩手・宮城内陸地震に加えた被害を受け倒壊した。

## 日ごろから地震に備えましょう

地震が発生したときは、「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保すること」が大切です。またいざというとき安全に行動できるよう、日ごろから備えを十分にしておき、自分自身や家族、周りの人を守りましょう。

- ◎日ごろの備え
  - ①防災訓練に積極的に参加する。
  - ②家族で防災について話し合う。
  - ③家具の転倒防止などを講じた安全スペースを確保する。

- ④非常持ち出し品を準備する。
- ◎地震が起きたら
  - ⑤まず落ち着いて行動する。
  - ⑥あわてずに火の始末をする。
  - ⑦避難は徒歩で、荷物は最小限にする。
  - ⑧塀ぎわ、崖など危険な場所には近寄らない。
  - ⑨正しい情報を聞く。
  - ⑩協力し合って応急救護する。

問い合わせ先…総務企画課 ☎46-5578